

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

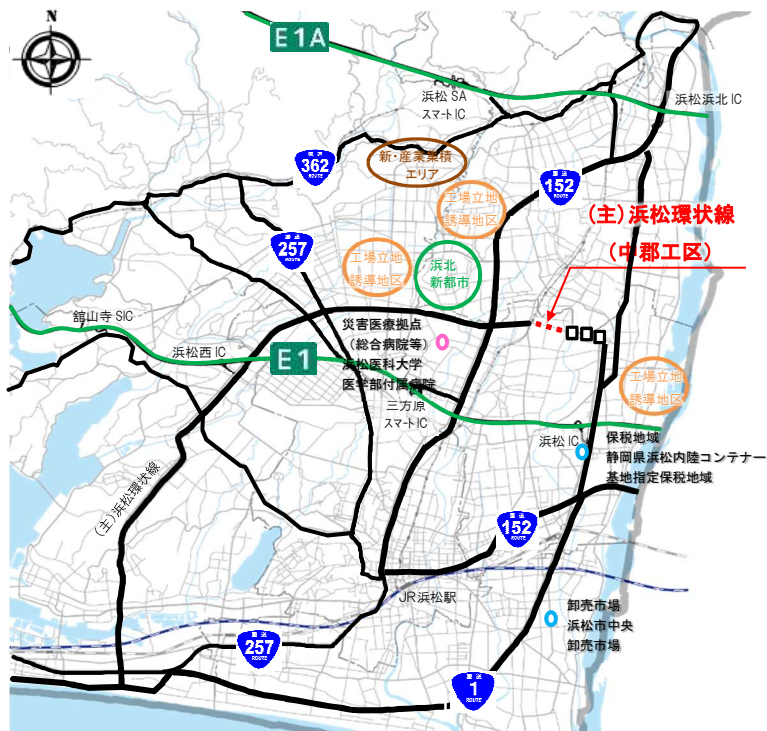
事業名 重要物流道路アクセス 主要地方道 浜松環状線（中郡工区）	事業区分	主要地方道	事業主体	浜松市
起終点 自：静岡県浜松市東区中郡町 至：静岡県浜松市東区中郡町			延長	0.5km
事業概要 主要地方道浜松環状線は、国道1号浜松バイパスと一体となり、本市の道路ネットワークである浜松環状線を形成する幹線道路として位置づけられている。広域幹線道路ネットワークの確保による交通の円滑化、及び安定的な輸送網の確保、物流生産性、交通安全性の向上を目的としており、中郡工区の整備延長は0.5kmである。				
H22年度事業化	S37年度都市計画決定	H23年度用地買収着手	H25年度工事着手	
全体事業費		約14億円	事業進捗率	約75%
計画交通量		33,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 5.6	総費用 (残事業)/ (事業全体) 1.9/14.3億円 事業費：1.8/14.2億円 維持管理費：0.1/0.1億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 80/80億円 走行時間短縮便益：77.2/77.2億円 走行経費減少便益：1.5/1.5億円 交通事故減少便益：0.9/0.9億円	基準年 平成30年
	(残事業) 42.1			
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=5.3~5.8(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=39.9~44.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=5.0~6.3(事業費 ±10%) 事業費：B/C=36.2~50.3(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=5.5~5.6(事業期間±20%) 事業期間：B/C=42.1~42.1(事業期間±20%)				
事業の効果等 ・広域幹線ネットワークの確保により、交通の分散化が図られ、市街地の交通渋滞の解消が期待できる。 ・両側歩道の整備及び住宅地への通過交通流入の抑制が図られ、安全な歩行空間の確保が期待できる。 ・地域産業を支える交通ネットワークの整備により、拠点間の移動時間を短縮し、安定的な輸送網の確保や物流生産性の向上に寄与する。				
関係する地方公共団体等の意見 ・事業計画について「浜松環状線建設促進期成同盟会」から合意を得ている。				
事業評価監視委員会の意見 ・事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・重要物流道路のアクセス道路として、平成30年度中に指定される見込み。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率：約75% 用地取得率：約85%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成32年度中に供用予定				
施設の構造や工法の変更： 再生資材や現場発生土の有効活用を進め、工事コストの縮減に努めている。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由				

・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡 例	
	開 通 済
	事 業 中
	調 査 中
	該 当 箇 所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。